

目的・目標とするもの（長期総合計画より）

長期総合計画で掲げる「スポーツの振興」から、「スポーツを楽しむ(観る(観て)、体験する(やる), 生きがいとを感じる人が増えています。)」との目標から、「地域社会における世代を超えた関係づくりや仲間づくりを進めるため、町民の生涯スポーツ活動の積極的な支援・拡充を図る必要があります。」という課題につながっています。

背景・課題

3年近くに及んだコロナ禍は、スポーツ振興、推進に大きな打撃となりました。その間スポーツ環境から離れた人は、経済の停滞、少子・高齢化等によって回復の兆しは停滞しています。故にスポーツ活動の積極的な支援・拡充を担うべき団体の運営にも影を落としています。

・ 日の出町スポーツ協会の課題

NPO 法人化して運営しているが、町からの補助金に依存している部分が多い。

高齢化社会・コロナの打撃を受け各種スポーツ団体の活動も縮小してきている。

役員の担い手含め組織運営は先細りしている。(各種体育大会参加窓口として大きく機能)

・ 地域スポーツクラブ(ひのでまちくらぶ)の課題

令和元年まで収支運営面も順調だったが、コロナ禍の打撃を受け現在も参加者収益は伸びず運営資金難に陥っている。(町民の健康増進、スポーツ参加の入り口として大きく貢献)

・ 社会を取り巻く課題

少子化・教職員の働き方改革等により中学校の部活動の運営も立ち行かなくなっている。国や都はまず、土・日曜日のクラブ活動を地域移行するよう促している。その受け皿として「地域スポーツクラブ」を推奨しているが、小規模自治体の日の出町に限らずどの自治体も現実には困難な状況で苦慮している。

具体的な取り組み・検討内容

◆議員や町内スポーツ団体から「スポーツ推進計画」検討・策定を望む声がありますが、計画は実効性のあるものでなければならないと考えており、現時点では他の自治体の計画の内容、実施状況など情報収集につとめ検討している段階です。

◆「ひのでまちくらぶ」の運営については、教室の整理をしつつ、現在、収益事業としては教室の開催のみとなっていることから、他の事業実施が必要と考えます。例として、町で行っている、健康増進事業や介護予防事業など運動指導員が必要な事業の受託することにより、安定した収益が見込めると考えます。「ひのでまちくらぶ」はその受け皿となれます。また、事務負担の軽減策を検討しています。例案として、やまびこホールの管理人兼務や、事務業務を日の出町スポーツ協会に業務委託、または傘下に入ることも検討事項です。

◆日の出町スポーツ協会についても、収益事業がなく2年に一度のスポーツフェスティバルの運営委託だけでは厳しい状況であることから、町関連施設の管理受託や地域スポーツクラブの業務を受託することによりお互いに好ましい状況になると考えます。

「スポーツ協会」、「ひのでまちくらぶ」に運営補助の補助金ではなく、**各種業務委託(または根拠が明確な補助金)を依頼することで各種団体運営の「自走」につながると考えます。**

目標に掲げる、地域社会における世代を超えた関係づくりや仲間づくりを進めるためには、各団体が町民の生涯スポーツ活動のけん引役となることで推進・拡大につながられます。